さいたま市議会議員

小森谷まさる市政報告

2025
春号

公明党市議会議員［見沼区］　発行者：小森谷 優　さいたま市見沼区中川545-30　TEL.048-688-1047

本会議で一般質問に立つ

さいたま市議会　令和7年 2月定例会報告

2月4日から3月13日までの38日間を会期として、さいたま市議会2月定例会が開催されました。小森谷まさる議員は、本会議において代表質問を行いました。

本会議で各政策について質す

市長の政治姿勢について

小森谷質問

1. **これまでの市政運営について**
2. **物価高騰対策について**
3. **地下鉄7号線の延伸について**質問しました。

主な答弁　令和6年度12月補正予算から令和7年度当初予算まで16ヵ月予算として公明党からの提言について予算化に努めた。地下鉄7号線についてはB/C（費用便益比）が1を超える見通しが立ってきた。

創造的福祉社会の構築に向けて

小森谷質問

1. **エッセンシャルワーカーへの支援の充実について**
2. **コミュニティソーシャルワーカーの全区配置と活用について**
3. **軟骨伝導補聴器の活用と窓口導入について**
4. **5歳児健診とフォロー体制の拡充について**
5. **誰でも通園制度の拡充について**質問しました。

主な答弁　コミュニティソーシャルワーカーは、できる限り速やかな全区配置を目指してまいりたい。5歳児健診については、保健・医療・福祉・教育分野の関係局で構成する「さいたま市発達障害児者支援庁内連絡会議」で課題整理、役割分担等の検討を行っている。切れ目のない子育て支援につながるようフォローアップ体制を整え、5歳児健診の早期実施を目指していく。

市民の安心・安全の確保に向けて

小森谷質問

1. **防災対策の推進について〔●TKB48プラスの実現でスフィア基準達成へ ●トイレカーの導入と広域連携について ●罹災証明のコンビニ交付へクラウド型被災者支援システムの導入について〕**
2. **防犯カメラの設置推進について**
3. **医療提供体制の拡充について**
4. **路面下空洞調査と道路ストック総点検について**質問しました。

※TKBとは、トイレ・キッチン・ベッド（バス）

主な答弁　避難所の居住スペースについてはスフィア基準を想定して整備に取り組んでいる。入浴機会や温かい食事、キッズスペース等の提案については引き続き、災害協定や備蓄物資の拡充を検討し努めてまいりたい。道路の安全については、路面状況の点検、下水道については口径800㎜以上の管路の緊急点検を進めている。ご指摘に応えて、今後、こうした取り組み状況をホームページ等で公表・周知してまいりたい。

教育のための社会実現について

小森谷質問

1. **教員の働き方改革の断行について**質しました。

主な答弁　働き方改革と教師の学びを充実させ、子どもにとってより良い教育を実現していくため「『さいたま市立学校における働き方改革』グランドデザイン」を策定した。ご紹介いただいた例も含めて調査研究し働き方改革をさらに加速化していく。

令和7年2月補正及び新年度予算に計上された主な公明党の提案

小学校等体育館へのエアコン設置の前倒し

これまでの計画では、中学校56校の体育館へ空調機新規整備を令和7年度までに終え、令和7年度中に小学校体育館へのエアコン設置の方針を決定することとなっていました。公明党市議団から、国の令和6年度補正予算において創設された「空調設備整備臨時特例交付金」を活用し、避難所となる学校体育館への空調設備設置を前倒しすべしと提案していました。

公共交通の充実強化

- 公共交通に課題を抱える地域の高齢者等の移動手段を確保するため、グリーンスローモビリティ及びAIデマンド交通の実証実験を行います。
- 路線バスの自動運転化に向けた実証実験を行います。

試乗する公明党市議団

子育て世帯の負担軽減

- 学校給食用食材の物価高騰分を公費負担します。
- 産後ケア事業の拡充、家事や育児の援助を行うホームヘルパーの派遣に係る利用料金の引き下げ、ファミリーサポートセンターの利用料金の引き下げなど

帯状疱疹ワクチン接種への助成制度の創設

国が令和7年4月から65歳以上の方等への帯状疱疹ワクチン接種を定期接種化することから、その対象外の50歳以上65歳未満の方に対する本市独自の接種助成制度を設けます。

防犯カメラの設置推進

駅前広場等への街頭防犯カメラの設置を加速化させ、令和9年度末までの全駅設置を目指して、戦略的整備を推進します。

自治会への設置支援を継続するとともに、新たにデータに基づいて設置を推奨し、戦略的整備を推進します。

コミュニティソーシャルワーカーの配置推進

4区にコミュニティソーシャルワーカーを配置し、制度の狭間にある生活課題を抱えた人や自ら支援を求めることができない人等への伴走型支援を実施します。

書かない窓口の全区展開

書かない窓口システムの全区導入により、市民の利便性向上に取り組みます。

障がい者の日常生活用具給付基準額の引き上げ

重度の障害者（児）に対する日常生活用具給付について物価高騰等の影響を踏まえ、基準額の見直しを行います。

さいたま市議会議員
小森谷 まさる

市政についてのご意見・ご要望はお気軽に
TEL:048-688-1047
komoriya@komei-saitamacity.com
https://komoriyamasaru.com/